

新生美術館の施設・設備の整備の検討にあたって

新生美術館を実現するために必要な、施設・設備の整備を検討するにあたっての考え方は、下記のとおりです。

1 施設整備の基本的な考え方

【新生美術館に求められる機能を満たす】

- ① 新生美術館に求められる機能を十分に満たすことのできる空間や設備を備える
- ② 貴重な作品（文化財等）を良好に保管・展示できる環境を確保する（文化庁公開承認施設の継続）
- ③ 芸術表現の多様化や県民等の利用ニーズを踏まえ、広範な活動や柔軟な利用形態に対応できる空間や設備を備える
- ④ 社会に開かれた広場として、すべての人に使いやすく、居心地がいいと思ってもらえる空間を提供する
- ⑤ 新生美術館にふさわしいデザイン性を備える

【現在の近代美術館の施設を踏まえて】

- ⑥ 現在の近代美術館の施設・設備を最大限に活かす
- ⑦ びわこ文化公園および公園内各施設の利用状況を踏まえ、利便性の向上や施設間の連携を促進する整備を行う

【財政上の観点から】

- ⑧ 上記項目を前提として、整備や今後の運営に要するコストの節減を徹底する

2 想定される施設整備の内容

- ① 現在の近代美術館の施設・設備の改修
- ② 新たな空間や設備を備えた施設の確保
- ③ 関連するびわこ文化公園の改修等
 - ・駐車場の拡充
 - ・交通アクセスの改善 等